

宮城県第五期管理計画における群れに対する評価の考え方

●宮城県第五期管理計画における群れ評価レベルの判定基準

評価項目 評価レベル	県内群れ数	人に対する反応	農地への出方	住宅地への出方	各種威嚇に対する反応	追い上げのしやすさの程度*	関係状態
A	2	数 100m の距離があっても接近して来る人の姿を見れば逃げる	出 没 し な い	出 没 し な い	威嚇する前に逃げ去る	① 上流側にはいない。下流側にはいる場合とない場合がある。 ② 良好。農耕地がない。	評価が高い (良好な関係)
	4						
B	5	人との距離が 50～100m になると逃げる	時に群れのオスが出没する	出 没 し な い	強力花火を撃つとただちに逃げ去る	① 上流側にはいない。下流側にはいる場合とない場合がある。 ② 良好。農耕地はわずか。	
	6						
C	10	人との距離が 50m 以内になっても逃げないことがある	時にオトナメスも出没する	警戒しながらも住宅地のすぐ近くまで来ることがある	強力花火だとゆっくりと、銃器を使用すると急速に逃げる	① 上流側にはいない。下流側にはいる場合とない場合がある。 ② 良好。農耕地や人家が少しある。	
	5						
D	3	追い払ったら逃げるが、そうしなければ人を無視する	頻繁にオスやオトナメスが出没する	移動時に住宅地を通過する	強力花火や銃器等を併用するとゆっくりとだが逃げる	① 上流側にはいない。下流側にはいる場合とない場合がある。 ② やや良好。農耕地や人家がかなりある。	
	6						
E	5	追い払っても遠くへは逃げずに身を隠すだけのことが多い	頻繁にコドモやアカンボウも出没する	休息時にも住宅地の人工物を利用することがある	強力花火や銃器等を併用しても逃げない個体がいる	① 上流側にいる。下流側にはいる場合とない場合がある。 ② 森林の面積より植林地・農耕地・宅地等の面積が上回る。	
	2						
F	0	人を恐れず、すぐ近くに身を隠すだけである	常に群れの全員が出没する	移動や休息に頻繁に利用し、軒下につるした農作物まで採食する	なにを使用しても近くにとどまり、移動方向を変えない	① 上流側にいる。下流側にはいない。 ② 植林以外の森林面積が多くなく、農耕地や人家が入り組んで存在する。	
	2						
WF	0	逆に人を威嚇したり攻撃する場合もある	農地に居座った状態になる	家屋内まで侵入して食物をあさったり、人の手から食物を強奪さえる	あらゆる威嚇道具への対処法を学習し、逆に人に向ってくることもある	① 上流側にいる。下流側にはいない。 ② 平坦な地形で植林以外の森林面積がほとんどなく、農耕地と人家が連続して存在する。	評価が低い (険悪な関係)

※計 50 群れ (評価レベル未判定・判定不能 7 群れを除く) (R6.3 時点)